

要 求 分 析 科 目 の 設 計

項目	概要
前提条件	学科を問わず展開できること（情報関連の知識・技術を前提としない）。
科目の目的	情報システム（IS）における要求分析の目的、方法の基本的な知識を修得する。
到達目標	RFP（提案依頼書）の位置づけが理解でき、読んで不足部分や不適切な部分を指摘できる。 一定の枠組みの中で RFP を作成できる。
科目内容	IS とは何か、IS ライフサイクル、IS 開発プロセスについて扱う。 事例として、ドメインの 1 つを取り上げて解説する。 RFP の位置づけ、書く立場（発注者側）と開発の立場（受注者側）があることを理解させる。 理解を深めるために演習を取り入れる。
開講学年	2 年生
授業形態	講義 2/3、演習 1/3 程度とすることが望ましい。
関係する LU（ラーニングユニット）	101,102,108,123,124,497,702,705,706,708,1501,1506,1509 以上の他に、RFP に関する LU を追加する必要がある。
シラバス	<ol style="list-style-type: none"> 1 . オリエンテーション 2 . 経営戦略と情報システム（101,102,702,705,708） 3 . 情報システムとステークホルダー（108） 4 . IS のライフサイクルと開発プロセス（1501,1506） 5 . 業務プロセス（497,706） 6 . 演習 1（業務プロセス） 7 . 業務分析（123,124） 8 . 演習 2（業務分析） 9 . RFP の役割と要件（1509,708） 10 . 演習 3（RFP） 11 . 演習 4（RFP） 12 . まとめ
注釈	各学科はそれぞれの事情等により、学習項目を検討して 15 回に拡張することを前提に、授業回数については 12 回としている。